R.I.P FELIX BAUMGARTNER

LONDON SPEAKER BUREAU

- **Daredevil, base jumper and the first man to break the sound barrier without vehicular power**

Topics

- Business
- Future
- Leadership
- Management
- Motivation
- Technology

2012年10月14日、オーストリアのジャンパ Felix Baumgartnerが3つのWorld Recordsを破りました。車両の助けを借りずに防音壁を破った最初の人間、最高の有人気球飛行、そして最高のスカイダイブです。

カプセルの階段の上に立って Baumgartnerは「私は全世界が今見ているのを知っている。あなたが私が見ることができるものを見ることができればいいのに。…もう帰ってきた Baumgartnerは敬礼し、MDTの12:08に棚から飛び出しました Mission Controlは、これを認めました。 50秒の降下の後、Baumgartnerは最高速度1,357.6 kmh 843.6 mph; Mach 1.25 に達しました。無制限のスピンがジャンプの最初の1分以内に始まったが、これは致命的だったかもしれないが Baumgartnerが安定を取り戻した01:23に終了した。彼は彼に彼に方向感覚を与えるために空気を感じることができなかったので「水を感じることなく水泳」に転倒を例にした。自由落下の03:40後、BaumgartnerはMission Controlに彼のバイザーが曇っていることを知らせ、その暖房についての彼の以前の懸念を反響させた。 04:16分のフリーフォールの後、彼は彼のパラシュートを展開し、それは04:20分にフリーフォールを開いて逮捕した。

カプセルから飛び降りてから約9分後 Baumgartnerはニューメキシコ州東部に足を踏み入れました。バウムガルトナーは膝をついて勝利した。1947年10月14日、米空軍少将のパイロット、チャック・イェーガーが操縦中の航空機で初めて防音壁を破ったとき、バウムガルトナーの飛躍は65年だった。 800万人がライブストリーミングイベントを見ました。ジャンプはYouTubeで最も見られたライブイベントでした。

1969年4月20日に生まれたフェリックスはザルツブルクで育ち、そこで彼はスカイダイビングや飛行中のヘリコプターを夢見てテレビで宇宙飛行士に触発されました。彼は16歳で最初のスカイダイビングを行いました。オーストリア軍の特殊部隊デモンストレーションチームの一員としてパラシュートスキルを磨いた後、彼はスカイダイビングのプロになる前にオートバイを修理することによって自分自身をサポートしました。

1990年代 FelixはBASEジャンプでキャノピースキルの範囲を広げました。 1997年に、彼はウェストバージニア州のブリッジデーでBASE全体のジャンピングチャンピオンを獲得しました。そして、それは世界中から競争相手を引き寄せます。彼の1999年のクアラルンプールのペトロナスタワーからのジャンプは、建物からの最高のBASEジャンプのための新しい世界記録を確立しました。そして同じ年、彼はリオデジャネイロのコルコバードのキリスト像からの史上最低のBASEジャンプを達成しました Felixの追加記録のサンプリングには、フランスのMillau橋（最高スパンの記録）と台湾のTaipei 101タワー（建物からの最高記録）があります。彼は60階建ての建物に相当するCroationの洞窟にも深く入り込んだ。

デアデビル行為に対する彼の嗜好の外に、フェリックスはまた、生命脊髄研究財団のための非営利ウィングの支持者です。

彼はウィーンのStreet of Championsに選ばれ、ワールドスポーツ賞とNEAエクストリームスポーツ賞の2つの部門にノミネートされました。 2012年に彼は「ミレニアム」のカテゴリーでバンビ賞を受賞しました。 2012年12月に、FelixはTop Gear誌によって The Men of the Year 2012 の1つに選ばれました。彼はローレウスワールドアクションスポーツオブザイヤー（2013年3月12日）に選ばれました。彼は2013年のSpike Guys 'Choice Awardsで人類賞を受賞しました Flying magazineは、2013年の "51 Heroes of Aviation"のリストで彼を46位にランクしました。彼はリストの最年少ランクの生きている人です。

フェリックスは彼の時間をアメリカとスイスの間で分けます。しかし、彼は「空気は私が家にいるところです」と認めています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988